

「第2次宇都宮市自転車のまち推進計画」(素案)に関する
パブリックコメントについて

1 パブリックコメントの実施状況

(1) 意見の募集期間 令和3年3月17日(水)～4月6日(火)

(2) 意見の応募者数 2名
意見数 4件

(3) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	計
人数	1			1	2

2 意見の処理状況

区 分	処理区分	件 数
A	意見の趣旨等を反映し、実施設計に盛り込むもの	件
B	意見の趣旨等は、実施設計に盛り込み済みと考えるもの	2件
C	実施設計の参考とするもの	件
D	実施設計に盛り込まないもの	件
E	その他、要望・意見等	2件
	計	4件

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	B	市内をサイクリングする時に自転車マップを利用している。今後は、1日中サイクリングができるよう、「りんりんロード」や「しまなみ海道」のような市域を越えた長距離のサイクリングルートを設定してほしい。	市域を越えた長距離のサイクリングルートの設定については、計画案の第8章の「機会づくり」に「広域モデルルートを検討・設定」を位置づけております。これに基づき、栃木県や周辺市町等と連携を図りながら、100kmを超えるサイクリングルートを設定していく予定であり、県内の観光振興や余暇活動の充実に期待できるものと考えております。

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
2	B	<p>コンビニエンスストアを利用したときに「自転車の駅」の看板を見つけたので何をしているのか店員に聞いたところ、空気入れポンプを貸してくれる施設であると教えてもらった。</p> <p>こういった自転車利用者に優しい取組を行っているのに、市民に認知されていないのでは意味がないため、積極的に情報発信していくべきである。</p>	<p>令和元年度に実施した市民意識調査において、自転車の駅を始め、サイクル・アンド・バスライド用駐輪場、自転車マップなどの認知度が低い結果であったことから、より多くの方に知ってもらい、利用してもらえよう、計画案の第8章の「機会づくり」に「自転車のまち宇都宮」のPRを位置づけております。これに基づき、市ホームページやメディア等を活用しながら、各種施策の情報発信を図り、認知度向上に努めてまいります。</p>
3	B	<p>LRTやバスなどの公共交通と自転車が連携することにより、高齢者や市外からの来訪者が快適に移動できる環境を整備してほしい。</p>	<p>公共交通との連携については、計画案の第8章の「基盤づくり」に交通結節点における駐輪場整備やシェアサイクルの導入などを位置づけております。これに基づき、誰もが安心して快適に移動できる環境整備に努めてまいります。</p>
4	E	<p>計画書には、自転車が関連する交通事故件数が年々増加傾向にあると記載されているが、中学・高校生や高齢者など全ての人が安全に自転車を利用できるよう、交通ルールの周知に努め、交通事故のない社会を実現してほしい。</p>	<p>自転車が関連する交通事故件数の削減に向けて、自転車が安全に走行できるよう、計画案の第8章の「基盤づくり」に位置付けた自転車走行空間整備の推進や、「安全・安心プロジェクト」に位置付けた地域や学校、警察と連携した交通安全教室の開催や街頭指導を実施することにより、交通ルールや自転車の正しい乗り方の周知に努めてまいります。</p>